

国家戦略特区ワーキンググループ ヒアリング（議事録）

（開催要領）

- 1 日時 令和7年5月21日（水）16時34分～16時44分
- 2 場所 永田町合同庁舎7階特別会議室（オンライン会議）
- 3 出席

<WG委員>

座長	中川 雅之	日本大学経済学部教授
座長代理	落合 孝文	渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 プロトタイプ政策研究所所長・シニアパートナー弁護士
委員	安念 潤司	中央大学大学院法務研究科教授
委員	大槻 奈那	名古屋商科大学大学院 マネジメント研究科教授 ピクテ・ジャパン株式会社 シニア・フェロー
委員	澁谷 遊野	東京大学大学院情報学環准教授
委員	菅原 晶子	公益社団法人経済同友会常務理事
委員	堀 天子	森・濱田松本法律事務所パートナー弁護士
委員	安田 洋祐	大阪大学大学院経済学研究科教授

<省庁等>

松平 健輔 内閣府 地方創生推進事務局 参事官

<事務局>

河村 直樹 内閣府 地方創生推進事務局 次長
安楽岡 武 内閣府 地方創生推進事務局 審議官
水野 正人 内閣府 地方創生推進事務局 参事官

（議事次第）

- 1 開会
- 2 議事 東京圏の区域指定（千葉県全域の追加）
- 3 閉会

○水野参事官 それでは、国家戦略特区ワーキングヒアリングを開始させていただきます。

本日の議題ですが「東京圏の区域指定（千葉県全域の追加）」ということで、今後の取扱いについてということでございます。

本日のヒアリングの資料及び議事につきましては、6月上旬に想定されております国家

戦略特区諮問会議で審議されるまでの期間をめぐりとして非公表とさせていただければと考えておりますが、中川座長、よろしいでしょうか。

○中川座長 結構です。

○水野参事官 ありがとうございます。

本日ですが、まず、5月15日の大臣参加の国家戦略ワーキングヒアリングを含めまして、これまでの議論を踏まえた今後の取扱いの案につきまして内閣府から資料の説明を行い、その後、委員の先生方による質疑・意見交換に移りたいと思います。

それでは、中川座長に議事進行をお願いいたします。

○中川座長 それでは「東京圏の区域指定（千葉県全域の追加）」ですけれども、それに関します今後の取扱いについて国家戦略特区ワーキンググループヒアリングを行いたいと思います。

本日は、御参加いただきましてありがとうございます。

早速でございますけれども、内閣府から御説明をお願いいたします。

○松平参事官 事務局参事官の松平でございます。資料に沿って御説明させていただきます。

まず2ページ目、これまでの経緯をまとめてございます。東京圏については、当初は東京都の9特別区、神奈川県、千葉県成田市が指定され、2次指定で東京都全域に、3次指定で千葉県千葉市が追加され、区域が拡大されてきた経緯がございます。

昨年7月の物流革新関係閣僚会議における議論や、8月の特区諮問会議における議論を踏まえまして、国家プロジェクトとして成田空港の機能強化を進めるとともに、国家戦略特区制度の活用について検討することとされまして、千葉県から、特区の区域を千葉県全域に拡大し、イノベーション促進等に資する規制・制度改革を強力に進めたい、という御提案をいただいたものでございます。

昨年の9月以降、この特区ワーキンググループヒアリングにおきまして、千葉県から提案いただいた個別の規制・制度改革提案について4回御議論いただいたり、5月15日の大臣参加のヒアリングも含めまして、千葉県から特区を活用した取組の全体像等を御説明いただき、質疑・意見交換を行ったところでございます。

委員の皆様から、この間の御議論において御指摘いただいた事項を次の3ページ目にまとめてございます。左側の提案全体の評価については、総じて肯定的な評価をいただいているものと認識してございます。

以下、成田空港を中心とした物流・移動の拠点機能強化を契機として、東京圏の国家戦略特区の社会的経済的効果をさらに高めることにつながる重要な取組である。

千葉県の多様な産業構造を踏まえた総合的な提案であり、広域的な波及効果や全国の規制・制度改革への波及効果が期待できる提案である。

千葉県や関係自治体の意欲・熱意が非常に伝わる提案である。

千葉県のポテンシャルである大学・研究機関や産業拠点等を活かし、東京圏はもとより

我が国全体の産業構造の転換や国際競争力の強化への波及を目指している点を高く評価できる。

創薬等のイノベーション促進など、我が国の国際競争力強化に期待できる分野も含まれている。

知事が千葉市長在任時に特区の取組を積極的に行ってきた経験があることはプラスに働くと期待される。

このような御指摘をいただいているところでございます。

他方で、右側にございますとおり、そういった構想でございませけれども、今後取組が期待される点、取組を進めるに当たって留意すべき課題等についても御指摘をいただいているところでございます。

千葉県において、県内市町村、事業者等と連携し、規制・制度改革の提案や取組を継続的に進めることが重要である。

東京圏は非常に広域的でございますので、千葉県と関係自治体が連携し、一体となって取組を進める体制を構築することが重要である。

総合的な提案であることを踏まえ、全体をとりまとめるビッグピクチャーを描き、フェーズに応じた課題や目標を整理しながらマネジメントを行っていただきたい。

社会的経済的効果については、KPIやアウトカムの設定、その検証に留意して進めていただきたいこと。

地域の関係者と連携し、医療、農業など、新たな産業構築を具体化していただきたい。

グローバルなインパクトを与え、与えられる提案を含んでおり、昨今の関税政策等のグローバルな影響を見極めつつ進めていただきたい。

産業の国際競争力の強化だけでなく、住環境等への影響にも目配りしながら進めていただきたい。

このようなコメントをいただいたものと承知してございます。

こうした御指摘を踏まえつつ、次の4ページ目、仮に特区と指定された場合の区域方針の変更案についても記載させていただいております。今回の千葉県の提案については、千葉県のポテンシャルを活かし、千葉県全域で規制改革やプロジェクトに取り組むことで、東京圏の目標である「国際的ビジネス拠点の形成」や「国際競争力のある新事業創出」に貢献していくという考え方をベースにしております。このため、東京圏の目標や政策課題については現行どおりとしつつ、事業に関する基本的事項に必要な記載を追記するという考え方で、この見直し案を作成してございます。

具体的には「移動・物流」という項目を新たに起こしまして、成田空港の機能強化に伴う外国人材の受入れ、いわゆるグランドハンドリング業務の拡充を意図した記載を追加するとともに、既存の特例の活用を見込んでいるものとして、既に記載されている支援に加え、外国人エンジニアの受入れ円滑化についても記載し、また、千葉県の提案が総合的なものであることも踏まえ、「その他」として、政策課題の達成に必要な事項にも順次取り

組んでいくことができるような記載にさせていただきます。

こういった形で特区ワーキングとしての今後の取扱いについての案を記載させていただきました。御質問・御意見、お気づきの点がございましたら、ぜひよろしくお願いします。

○中川座長 ありがとうございます。

それでは、委員の皆様から本件について御意見・御質問があればお伺いできればと思いますがいかがでしょうか。

御発言を求める先生方はいらっしゃいませんか。よろしいでしょうか。

それでは、これまでの特区ワーキングにおける議論を踏まえますと、県内の市町村や事業者等と連携し、規制制度改革の提案や取組を継続的に進めることや、多数の産業に関わる提案をしっかりとマネジメントしていく必要があるという課題がありましたが、指定基準を踏まえた検討の結果、千葉県全域を国家戦略特区として指定し、取組を進めることが適当であると考えます。

特区ワーキング委員の皆様方におかれましては、そうした形でよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○中川座長 ありがとうございます。

それでは、異議がないということでございましたので、そのように進めさせていただければと思います。

そうしましたら、東京圏の指定区域に千葉県全域を追加するということについて、特区ワーキングの委員の皆様方に御了解いただきましたので、政府事務局におきましては、これまでの特区ワーキングにおける議論や今回の方針を踏まえて、国家戦略特区諮問会議等に向けた検討手続を進めていただきますようお願いいたします。

ほかに御発言を求める方はいらっしゃいますでしょうか。

落合先生、どうぞ。

○落合座長代理 このたび、こういう形で議論されたこともありますので、ぜひ今後、一層千葉県から新しい取組が出るように我々も尽力しなければと思ったので、その旨だけ添えさせていただければと思いました。

以上でございます。

○中川座長 ありがとうございます。

私も含みますワーキング委員として、そのような形で働きかけをしたいと思いますし、内閣府におかれましても落合先生の御指摘を踏まえて千葉県と連携をしていただければと思います。

ほかに御発言を求める方はいらっしゃいますか。

それでは「東京圏の区域指定（千葉県全域の追加）」の今後の取扱いについての国家戦略特区ワーキンググループヒアリングを終了いたします。

関係者の皆様、どうもありがとうございました。